

平成 30 年度予算主要事業の概要
(事業別説明資料)

基盤整備部



目 次

土地改良事業	1
林道整備事業	2
市道等の安定的な除雪	3
道路関連交付金事業	4
橋梁関連交付金事業	5
生活に密着した基盤整備の推進	6
地域振興（ハード）事業	7
公共トイレ改修・除去事業	8
気多公園の再整備	9
<small>むかでじゆう</small> 百足城跡公園の整備	10
都市公園の長寿命化対策	11
古川祭屋台曳行の支障となる電線等の移設	12
神岡地区都市再生整備計画事業	13
市営住宅の長寿命化対策	14
住宅新築・購入費用の支援	15
住宅性能向上リフォームの支援	16
ひとり親家庭への住宅支援	17
住宅等耐震化の促進	18
古川地区街なみ環境整備事業	19
神岡地区街なみ環境整備事業	20

継続 土地改良事業

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】	【主な使途】												
55,518	<table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">県支出金</td> <td style="text-align: right;">7,080</td> </tr> <tr> <td>過疎債</td> <td style="text-align: right;">26,500</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td style="text-align: right;">13,332</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td style="text-align: right;">8,606</td> </tr> </table>	県支出金	7,080	過疎債	26,500	その他	13,332	一般財源	8,606	<table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">工事請負費</td> <td style="text-align: right;">17,700</td> </tr> <tr> <td>負担金</td> <td style="text-align: right;">37,818</td> </tr> </table>	工事請負費	17,700	負担金	37,818
県支出金	7,080													
過疎債	26,500													
その他	13,332													
一般財源	8,606													
工事請負費	17,700													
負担金	37,818													
(前年度予算 82,400)														

2 事業背景・目的

市内の農業用施設は、建設から相当の年数が経過しており老朽化が進行しています。そのため農業基盤（農道、農業用水路等）の再整備により、農業経営の安定化・営農意欲の向上を図ることを目的に、以下の事業を計画的に行います。

3 事業概要

① 県営土地改良事業 (37,818千円)

- ・ 県営中山間地域総合整備事業（飛騨西部地区） H28～H33
- ・ 県営かんがい排水事業（宮川右岸用水） H28～H30
- ・ 県営小水力発電整備（石神地区） H26～H30
- ・ 県営かんがい排水事業（高原用水） H30～H33
- ・ 県営中山間地域総合整備事業（神岡2期） H31新規地区に向けて準備

② 県単土地改良事業 (17,700千円)

農道舗装 2件、水路 3件

③ 主要幹線用排水路の保全計画策定 (ゼロ予算)

大久古用水、桜野用水、山崎・行真排水路（県施行事業）

(款) 6 農林水産業費	(項) 1 農業費	(目) 5 農地費	
所 属	基盤整備部建設課 Tel.0577-73-3936	予算書	P.92

継続 林道整備事業

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】	【主な使途】												
189,100	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">県支出金</td> <td style="text-align: right;">113,100</td> </tr> <tr> <td>過疎債・辺地債</td> <td style="text-align: right;">60,700</td> </tr> <tr> <td>分担金</td> <td style="text-align: right;">2,400</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td style="text-align: right;">12,900</td> </tr> </table>	県支出金	113,100	過疎債・辺地債	60,700	分担金	2,400	一般財源	12,900	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">委託料</td> <td style="text-align: right;">10,000</td> </tr> <tr> <td>工事請負費</td> <td style="text-align: right;">179,100</td> </tr> </table>	委託料	10,000	工事請負費	179,100
県支出金	113,100													
過疎債・辺地債	60,700													
分担金	2,400													
一般財源	12,900													
委託料	10,000													
工事請負費	179,100													
(前年度予算	78,479)													

2 事業背景・目的

飛騨市は、市域の約93%を森林が占めていますが、広大な森林には木材生産機能だけではなく、水源涵養や山地保全の防災機能等の発揮が求められています。そのため森林施業の基盤である林道や橋梁等の整備・保全をすすめることで、林業従事者が安心して施業できる環境の整備を図ります。

3 事業概要

① 公共林道整備事業 (142,000千円)

- 森安万波線開設工事 (宮川)
- 登谷線法面改良工事 (古川)
- 林道橋の点検調査 (古川、宮川：三之瀬林道ほか1路線7橋)
- 橋梁保全整備 (神岡：和佐府橋)

② 県単林道整備事業 (47,100千円)

- 林道法面・路側改良・舗装新設工事
- 古川：安峰～神原線 (舗装)、猪臥線 (路側)
- 宮川：三川原線 (法面)
- 神岡：灘見谷線 (法面)

(款) 6 農林水産業費	(項) 2 林業費	(目) 4 林道費	
所 属	基盤整備部建設課 TEL0577-73-3936	予算書	P.95

継続 市道等の安定的な除雪

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】	【主な使途】												
401,425	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">国県支出金</td> <td style="width: 20%; text-align: right;">28,874</td> <td style="width: 30%;">委託料</td> <td style="width: 20%; text-align: right;">304,423</td> </tr> <tr> <td>過疎債</td> <td style="text-align: right;">33,200</td> <td>備品購入費</td> <td style="text-align: right;">62,538</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td style="text-align: right;">339,351</td> <td>その他</td> <td style="text-align: right;">34,464</td> </tr> </table>	国県支出金	28,874	委託料	304,423	過疎債	33,200	備品購入費	62,538	一般財源	339,351	その他	34,464	
国県支出金	28,874	委託料	304,423											
過疎債	33,200	備品購入費	62,538											
一般財源	339,351	その他	34,464											
(前年度予算 330,825)														

2 事業背景・目的

市が管理する道路等において冬季の通行を確保するため、除雪機械や消融雪装置、凍結防止剤の散布等による道路除雪を行うとともに、高齢化や過疎化による除雪要望の増加に対応するため、既存除雪機械の計画的な更新とニーズに合わせた除雪機械の新規導入を行います。

消雪装置については、既存の消雪管路の見直しや修繕を行います。

3 事業概要

① 除雪に要する経費 (320,431千円)

- ・ 除雪委託料、直営オペレーター賃金、機械・設備の保守点検及び修繕など

② 消融雪装置に要する経費 (18,424千円)

- ・ 光熱水費 (電気料金)、設備の保守点検など
- ・ 消雪装置の改良 古川：野中～小島線【再掲】
- ・ 消雪井戸の洗浄等 古川：西小通学線ほか【再掲】

③ 除雪機械の更新・購入に要する経費 (62,170千円)

- ・ ローター除雪車 1台
- ・ 除雪ドーザー 1台

④ 除雪機械貸し出し・ボランティア除雪に要する経費 (400千円)

(款)	8 土木費	(項)	2 道路橋梁費	(目)	2 道路維持費
所 属	基盤整備部建設課		TEL0577-73-3936	予算書	P.104

継続 橋梁関連交付金事業

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】	【主な使途】												
59,500	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">国庫支出金</td> <td style="text-align: right;">35,090</td> </tr> <tr> <td>過疎債</td> <td style="text-align: right;">19,300</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td style="text-align: right;">5,110</td> </tr> </table>	国庫支出金	35,090	過疎債	19,300	一般財源	5,110	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">委託料</td> <td style="text-align: right;">32,000</td> </tr> <tr> <td>工事請負費</td> <td style="text-align: right;">27,000</td> </tr> <tr> <td>手数料</td> <td style="text-align: right;">500</td> </tr> </table>	委託料	32,000	工事請負費	27,000	手数料	500
国庫支出金	35,090													
過疎債	19,300													
一般財源	5,110													
委託料	32,000													
工事請負費	27,000													
手数料	500													
(前年度予算 141,000)														

2 事業背景・目的

市では延長15m以上の重要な橋（75橋）について、平成21年度に「飛騨市橋梁長寿命化修繕計画」を策定し、予防保全的な補修工事を実施してきました。

また、平成25年の道路法改正に伴い5年毎の定期点検が義務付けられた延長2m以上の全ての橋（340橋）について順次点検を実施しています。そのうち、点検結果により早期に対策が必要と判定された橋について、国の補助事業（社会資本整備総合交付金）を活用し、順次補修対策を行います。

3 事業概要

道路法に基づく定期点検と補修工事を実施します。

- ・ 定期点検（市内一円：10橋）
- ・ 補修設計（市内一円：牧土橋ほか）
- ・ 補修工事（市内一円：三川原橋ほか）

(款)	8 土木費	(項)	2 道路橋梁費	(目)	4 橋梁維持費
所 属	基盤整備部建設課 TEL0577-73-3936			予算書	P.105

継続 生活に密着した基盤整備の推進

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】	【主な使途】
136,800	分担金 820 ふるさと創生基金 8,000 過疎債 23,000 一般財源 104,980	委託料 35,900 工事請負費 100,900
(前年度予算 155,600)		

2 事業背景・目的

小規模な道路改良や舗装・側溝改良工事のほか、多種多様な地域要望や道路等のパトロール結果を踏まえ、必要性・緊急性を現場目線で判断しながら速やかに修繕工事を実施するなど、きめ細かな基盤整備を推進します。

3 事業概要

- ① 交通安全施設整備事業 (15,000千円)
 - ・道路区画線、防護柵、カーブミラーの設置など
- ② 市単土地改良事業 (13,250千円)
 - ・農道、用水路の維持修繕など
- ③ 市単林道整備事業 (12,550千円)
 - ・林道の維持修繕 (路肩、舗装修繕など)
- ④ 市単道路新設改良・道路維持補修事業 (79,300千円)
 - ・市道の新設改良、舗装、側溝改良
 - ・市道の維持修繕 (側溝、舗装修繕など)
- ⑤ 市単河川改良事業 (5,000千円)
 - ・河川の維持修繕 (堆積土砂除去など)
- ⑥ 急傾斜地対策事業 (11,700千円)
 - ・調査測量設計 (用地測量、概略設計など)

(款)	8 土木費	(項)	2 道路橋梁費	(目)	3 道路新設改良費 他
所 属	基盤整備部建設課 ☎0577-73-3936		予算書	P.51・91～92・95・104～105	

拡充 地域振興（ハード）事業

1 事業費 （単位：千円）	【財源内訳】	【主な使途】
110,000	一般財源 110,000	工事請負費 100,000
		原材料費 4,500
		その他 5,500

（前年度予算 100,000）

2 事業背景・目的

各地域から寄せられる道路や水路の修繕などを中心とする様々な要望や、早急に対処が必要な突発的な事案に対し、各振興事務所長の判断による迅速かつ柔軟な対応を行うため、事業費を増額して取り組みます。

3 事業概要

① 地域振興費

各町の市道面積に応じて予算を配分し、市道や農道、林道、また農業用水路や河川等の修繕工事など、各地域の実情に沿ったきめ細やかなハード事業を行います。

○地域ごとの事業費

- ・古川町分 43,000千円 ・河合町分 13,500千円
- ・宮川町分 12,500千円 ・神岡町分 41,000千円



改修前



改修後

(款) 2 総務費	(項) 1 総務管理費	(目) 10 地域振興費	
所 属	基盤整備部建設課 Tel.0577-73-3936	予算書	P.52～53

継続 公共トイレ改修・除去事業

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】	【主な使途】
5,185	ふるさと創生基金 1,800 公共施設管理基金 1,000 一般財源 2,385	工事請負費 5,185
(前年度予算 13,644)		

2 事業背景・目的

市内の公共トイレは、市民や観光客が利用する行政施設や観光施設、教育施設など多岐にわたります。子どもやお年寄りなど人に優しいトイレへの改修は、市のイメージアップに繋がる重要な施策であり、特に汲み取りトイレの解消や洋式化など清潔なトイレへの転換は早急に行う必要があります。

このため、今後も利用者の多い公共施設など優先すべき箇所から、計画的に改修や除去を進めます。

3 事業概要

○ **公共トイレ改修事業 3,285千円**

釜崎公園トイレ、割石温泉トイレ

○ **公共トイレ除去事業 1,900千円**

神岡小学校屋外トイレ、数河丘グラウンドトイレ



神岡小学校屋外にある汲み取り式トイレ



老朽化による損傷が著しい釜崎公園トイレ

(款) 3 民生費	(項) 1 社会福祉費	(目) 4 老人福祉センター割石温泉運営費	
(款) 7 商工費	(項) 1 商工費	(目) 3 観光費	
(款) 8 土木費	(項) 4 都市計画費	(目) 2 公園費	
(款) 10 教育費	(項) 5 保健体育費	(目) 2 体育施設費	
所 属	基盤整備部都市整備課 他 TEL0577-73-0153	予算書	P.66・100・107・127

継続 気多公園の再整備

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】		【主な使途】	
4,200	過疎債	3,000	委託料	1,200
	一般財源	1,200	工事請負費	3,000
(前年度予算 2,083)				

2 事業背景・目的

気多公園は、静かな森に囲まれた自然豊かな公園として市民に愛されていますが、園内樹木の老木化による古損が進行し、樹木全体の手入れが必要となっています。

平成29年度は安全面に配慮し、倒木の恐れのある樹木の伐採を行ないました。平成30年度は、隣接する藤園と併せて、園内樹木の管理を行いながら、市民の憩いの場としての環境整備を引き続き行います。

3 事業概要

園内の樹木剪定やサクラ、モミジ等をバランスよく補植し、四季折々自然を満喫できる公園として整備します。

また、隣接する藤園の適正な維持管理に努めます。



伐採後の状況



樹木(桜)の腐食状況

(款)	8 土木費	(項)	4 都市計画費	(目)	2 公園費
所 属	基盤整備部	都市整備課	TEL0577-73-0153	予算書	P.106~107

継続 百足城跡公園の整備

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】	【主な使途】
3,000	過疎債	3,000
		工事請負費
		3,000
(前年度予算 7,700)		

2 事業背景・目的

古川町高野地内の百足城跡は、広葉樹などの自然に囲まれ、山頂付近からは古川町の市街地を見渡すことが出来る展望スポットです。また、県埋蔵文化財にも登録されており、平成29年度の埋蔵文化財の試掘調査において石垣等の遺跡が新たに発見されました。

このような地域の魅力ある資源を有効に活用し、市民が山城の歴史を学びながら、彩り豊かな自然を満喫できる公園整備を行います。

3 事業概要

平成30年度は公園利用者用の駐車場整備や、市民に安心して楽しく散策してもらえらるための案内サイン等を設置します。



発見された遺跡



駐車場予定地

(款)	8 土木費	(項)	4 都市計画費	(目)	2 公園費
所 属	基盤整備部	都市整備課	Tel.0577-73-0153	予算書	P. 107

継続 都市公園の長寿命化対策

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】	【主な使途】
26,100	国庫支出金 13,000 過疎債 13,100	委託料 10,900 工事請負費 15,200

(前年度予算 9,300)

2 事業背景・目的

都市公園は、市民の憩い、交流、健康増進などで活用され、地域生活にとって非常に重要な役割を果たしています。一方で、園内の遊具などの施設は老朽化が進んでいるため、順次施設の更新を図りながら、公園の利用促進をさらに図る必要があります。

このため、「公園施設長寿命化計画」に基づいて計画的な整備を行い、整備コストの平準化やライフサイクルコストの縮減を図ります。

3 事業概要

市民に安心して公園を利用してもらうために、劣化や損傷が著しい神岡町坂巻公園の遊具の更新を行います。

また、当公園の野球場において、老朽化した照明設備を更新するための詳細設計を行います。



老朽した野球場照明



劣化の著しい遊具

(款)	8 土木費	(項)	4 都市計画費	(目)	2 公園費
所 属	基盤整備部	都市整備課	TEL0577-73-0153	予算書	P. 106～107

継続 古川祭屋台曳行の支障となる電線等の移設

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】	【主な使途】
8,053	県支出金 3,600	補償費 4,837
(前年度予算 4,872)	一般財源 4,453	工事請負費 3,216

2 事業背景・目的

古川祭屋台の曳行にあたっては、道路上にある電線等が支障となっており、平成28年には屋台の屋根が通信ケーブルと接触し破損する事故も発生したことから、同12月に道路上空を新たに横断する電線の高さを制限する条例を制定しました。

しかし、既に設置されている電線については条例の適用外であり、現状のまま残っていることから、既存電線においても電線管理者や各屋台組と協議・調整を行い、支障となる電線の移設や地上高を上げる工事を計画的に進めます。

3 事業概要

古川祭屋台曳行の支障となる電線等の移設や地上高を上げる工事を行い、安心安全に屋台曳行できる環境を整えます。

- ・ 電線等移設工事 (市施工)
- ・ 電線等移転補償 (中部電力、NTT他)



電線に接触し破損した祭屋台の屋根部



屋台曳行に支障となる電線

(款)	8 土木費	(項)	4 都市計画費	(目)	3 まちづくり整備事業費
所 属	基盤整備部	都市整備課	Tel.0577-73-0153	予算書	P.107

継続 神岡地区都市再生整備計画事業

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】	【主な使途】
10,100	国庫支出金 4,000 過疎債 6,000 一般財源 100	工事請負費 10,100
(前年度予算 23,500)		

2 事業背景・目的

神岡町市街地に残る豊富な歴史資源を活かしたまちづくりが進められる中、近年増加しているレールマウンテンバイクの観光客を街なかへ誘導し、市街地の賑わいや活力の創出を図る必要があります。

今年度は、レールマウンテンバイクの出発地点（旧奥飛驒温泉口駅）に近接する坂巻公園内において、来訪者等がゆっくりくつろげる街なか回遊ポイントとして、旧テニスコート部分の再整備を行います。

3 事業概要

使用されていない坂巻公園旧テニスコートを芝生広場にリニューアルし、市民や来訪者等の親子連れがくつろぎ、交流できる空間を整備します。

公園芝生広場 整備面積A = 2,000 m²



老朽化が著しいテニスコート

(款)	8 土木費	(項)	4 都市計画費	(目)	3 まちづくり整備事業費
所 属	基盤整備部 都市整備課	TEL.0577-73-0153		予算書	P.107

継続 市営住宅の長寿命化対策

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】	【主な使途】				
28,000	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">国庫支出金</td> <td style="width: 50%; text-align: right;">12,600</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td style="text-align: right;">15,400</td> </tr> </table>	国庫支出金	12,600	一般財源	15,400	工事請負費 28,000
国庫支出金	12,600					
一般財源	15,400					
(前年度予算 49,800)						

2 事業背景・目的

市営住宅は、これまでは不具合が生じた時点で修繕を行ってきましたが、住宅の長寿命化やコストの縮減を図るため、公営住宅等長寿命化計画を策定し、計画的な予防保全型の修繕を行っています。

平成30年度も引き続き、計画に基づいて住宅修繕工事を実施します。

3 事業概要

建設から18年が経過し、漏水等の劣化が懸念される神岡サンアルプ旭C棟について、入居者が安心して暮らせるよう、屋上部分の防水工事を実施します。



サンアルプ旭C棟 屋上劣化状況

(款)	8 土木費	(項)	5 住宅費	(目)	1 住宅管理費
所 属	基盤整備部	都市整備課	Tel.0577-73-0153	予算書	P.108

改革 住宅新築・購入費用の支援

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】	【主な用途】
35,000	国県支出金 3,350 過疎債 31,600 一般財源 50	補助金 35,000
(前年度予算 25,000)		

2 事業背景・目的

これまで人口減少対策の一環として、転入世帯、若年世帯及び三世帯同居世帯を中心に住宅取得を支援してきましたが、さらに市内定住を促進するため、これまでの要件を緩和し、市内で住宅を新築・購入される全ての方が助成金を受けられる制度に拡充します。

また、転入世帯の方の助成金額は現行40万円から50万円に増額します。

さらに、市民窓口を一本化するために、現行の移住促進住宅改修事業と制度を統合し、移住者が住宅購入と併せて改修を行なう場合、最大100万円の加算補助が受けられます。

3 事業概要

○【改革】住宅新築・購入支援助成金

■対象 市内に定住する目的で住宅を取得する方（年齢制限等なし）

■補助額（基本額+加算額とします）

①基本額【拡充】

住宅取得額が1千万円未満	10万円
1～2千万円	20万円
2千万円以上	30万円



②加算額【拡充】市外からの転入 50万円を加算

【継続】市内業者による施工 20万円を加算

【拡充】移住世帯の住宅改修 改修費の1/3を加算（上限額100万円）

(事例)

市内在住の方が市内工務店を利用して2500万円でマイホームを新築した場合
 → 基本額30万円+加算額20万円 = 合計助成金50万円

※ なお、現行制度の三世帯同居世帯等支援事業、住宅建設等促進助成事業、移住促進住宅改修事業については、平成29年度末で受付終了となります。

(款)	8 土木費	(項)	5 住宅費	(目)	2 住宅対策費
所 属	基盤整備部	都市整備課	TEL0577-73-0153	予算書	P.108

改革 住宅性能向上リフォームの支援

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】	【主な使途】
82,500	過疎債 80,000	補助金 82,500
	一般財源 2,500	
(前年度予算 0)		

2 事業背景・目的

本市の住宅状況は、他の地域と比べて持家の割合が高い一方で、老朽化した住宅が多いことから、安全で快適に暮らせる住宅への転換が必要となっています。

このため、市内に居住している個人住宅において、省エネや安全性など住宅性能が向上するリフォームを支援し、あんきで暮らしやすい住まいづくりを推進します。また当事業は住宅関連産業を中心に好循環拡大に向けての経済対策として実施します。

3 事業概要

- 対象
- ①市内に居住している個人住宅のリフォーム工事
 - ②性能向上を図るリフォームを含む工事(※)
 - ③市内業者が施工する工事
 - ④工事に要する費用が30万円以上の工事
 - ⑤年度内に完了する工事



■補助率等

- ・対象工事費の20% (上限額20万円)
- ・300万円以上のローン活用→3万円を加算

■事業期間

平成30年度から平成32年度の3ヶ年
(年度ごとに先着順で受付、予算範囲内で補助)

※ 住宅性能向上となる工事の例

- 屋根や外壁等の断熱・遮熱改修、塗装
- 外窓交換、内窓設置、ガラス交換
- 段差解消、手すり設置等のバリアフリー化
- トイレ洋式化 ○防犯カメラ設置
- 高断熱浴槽、高効率給湯器の設置 など



(款)	8 土木費	(項)	5 住宅費	(目)	2 住宅対策費
所 属	基盤整備部	都市整備課	TEL0577-73-0153	予算書	P. 108

新規 ひとり親家庭への住宅支援

(ひとり親家庭応援プロジェクト)

1 事業費 (単位: 千円)	【財源内訳】	【主な使途】
1,200	一般財源 1,200	補助金 1,200

(現計予算 0)

2 事業背景・目的

ひとり親家庭を対象としたアンケート調査において、多くの世帯が経済的に苦慮していることから、持家のない世帯は家賃の安い公営住宅への入居を希望されています。しかし、諸事情により入居選考から外れた方は、やむなく家賃の高い民間アパートで暮らしているのが実情です。こうしたひとり親家庭の生活を改善すべく、家賃等の経済的負担を軽減し、安心して子育てができる環境を支援します。

3 事業概要

① 【新規】民間賃貸住宅家賃補助事業 (1,200千円)

民間アパートの空き室について、市のひとり親家庭支援住宅として募集・登録し、家賃の一部を市が補助します。

- 対象 高校生相当以下を養育しているひとり親世帯
(但し、支援期間は児童扶養手当受給期間とします)
- 補助額 家賃が 35,000 円となるまでの差額 (上限額 20,000 円/月)
- 登録要件 ①耐震基準を満たす集合住宅
②家賃55,000円/月以下の物件

② 【新規】特定公共賃貸住宅家賃低減事業 (ゼロ予算)

現在空き室のある特定公共賃貸住宅 (中堅所得者用) を、公営住宅 (低所得者用) 並みの家賃で提供します。

- 対象 高校生相当以下を養育しているひとり親世帯
かつ月額所得が158,000円以下の世帯
- 家賃 公営住宅法による家賃

(款)	8 土木費	(項)	5 住宅費	(目)	2 住宅対策費
所属	基盤整備部	都市整備課	TEL0577-73-0153	予算書	P.108

継続 住宅等耐震化の促進

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】	【主な用途】
4,194	国庫支出金 1,547 県支出金 1,048 一般財源 1,599	委託料 1,394 補助金 2,800
(前年度予算 8,658)		

2 事業背景・目的

近年発生した東日本大震災や熊本地震においては、家屋の倒壊による被害が多数発生し、多くの生命や財産が失われました。市では建物の倒壊による人的・経済的被害を最小限に抑えるために、建物の耐震化を継続して推進します。

具体的には、木造住宅の耐震診断を無料で行い、補強計画や補強工事には補助金を交付します。

3 事業概要

① 木造住宅耐震診断委託 (1,394千円)

市内木造住宅の無料耐震診断を継続して行い、住宅の耐震化を促進します。

② 建築物等耐震化促進事業補助金 (2,800千円)

・木造住宅の耐震補強を行う方に対し、最大120万円までを市が補助します。



(款)	8 土木費	(項)	5 住宅費	(目)	2 住宅対策費
所 属	基盤整備部	都市整備課	Tel.0577-73-0153	予算書	P.108

新規 古川地区街なみ環境整備事業

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】	【主な用途】
13,000	国庫支出金 6,500 過疎債 6,500	委託料 13,000
(前年度予算 10,368)		

2 事業背景・目的

古川町市街地の街なみは重要な観光名所となっていますが、沿道に立つ電柱や電線は景観や歩行性を阻害しています。また、甚大な地震や台風等の災害時に起こりうる電柱倒壊等への対策も必要です。特に市道壱之町線は、多くの観光客で賑わう景観スポットであるとともに、学童の通学路としても利用されている生活道路です。安全で魅力的な歩行空間を確保するため、道路の無電柱化を推進します。加えて、昨年ユネスコ登録された古川祭屋台行事において、電線等との接触事故を未然に防止し、文化財の保護に努めます。

平成30年度国補助事業(街なみ環境整備事業:補助率1/2)において、本格的に事業を実施します。

3 事業概要

市道壱之町線電線共同溝詳細設計 (13,000千円)

電線共同溝BOX、管路、民地への引込等の詳細設計



整備前
(電柱が街並み景観を阻害)



整備後
(電柱のない美しい街並みが形成)

(款)	8 土木費	(項)	5 住宅費	(目)	2 住宅対策費
所 属	基盤整備部	都市整備課	Tel.0577-73-0153	予算書	P.108

継続 神岡地区街なみ環境整備事業

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】	【主な使途】
13,100	国庫支出金 6,500 過疎債 6,500 一般財源 100	委託費 2,000 工事請負費 11,100
(前年度予算 28,000)		

2 事業背景・目的

神岡町市街地は鉱山町として栄えた「昭和の街」として、懐かしい面影を今も残しています。共同水屋・土蔵群・町家等の歴史資源や清流高原川等の豊かな自然を活かした魅力あるまちづくりをさらに推進し、観光振興による地域の活性化を図ることを目的として、街なみ環境整備事業計画に基づき、市道の修景整備を継続して実施します。

3 事業概要

平成30年度は、街歩きルートとなっている路線の道路美装化や、景観にマッチする街路灯整備を行います。

- ・道路美装化測量設計 (市道蔵前～西校線)
- ・道路美装化整備工事 (市道蟻川～栄線)
- ・街路灯修景整備工事 (市道栄～相生線)



美装化を行う市道蟻川～栄線



街歩きガイドによる街並み散策

(款)	8 土木費	(項)	5 住宅費	(目)	2 住宅対策費
所 属	基盤整備部	都市整備課	TEL0577-73-0153	予算書	P.108